

発電所だより

プルサーマルについて4回シリーズでお知らせします。
1回目のテーマは「東北電力のプルサーマル計画」です。

東北電力株式会社 女川原子力発電所 広報課
宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田1 電話 0225(53)3111
原子力の情報をホームページで公開しています。http://www.tohoku-epco.co.jp

東北電力では女川原子力発電所3号機で プルサーマルを計画しています。

女川町・石巻市の皆さまへ

地域の皆さまにおかれましては、日ごろより女川原子力発電所の運転に、ご理解とご支援をたまり心より感謝申し上げます。

さて、当社は11月5日、女川原子力発電所3号機のプルサーマル計画について、宮城県、女川町、石巻市に安全協定に基づく事前協議の申し入れを行い、翌6日には、国の原子力安全・保安院に対して原子炉設置変更許可申請を行いました。

プルサーマルは、ウラン資源の有効活用と将来にわたるエネルギーの安定供給のために是非とも必要であり、安全性につきましても十分確保されていると考えております。今後、国の厳格な安全審査を受けるとともに、地域の皆さまより幅広いご理解がいただけるよう努力してまいります。

女川原子力発電所につきましては、今後とも安全確保を最優先に取り組んでまいりますので、女川原子力発電所3号機でのプルサーマル計画につきまして、ご理解をたまりますよう、よろしくお願い申し上げます。

東北電力株式会社



火力原子力本部副部長
女川駐在地域統括
鹿目 勘六



女川原子力発電所長
佐久間 洋

東北電力のプルサーマル計画の概要

- ①女川原子力発電所3号機でウランとプルトニウムを混合した燃料(MOX燃料)を使用します。
- ②使用するMOX燃料は、外観・形状ともに従来のウラン燃料と同一のものとします。
- ③使用するMOX燃料は全燃料の重量の1/3以下とします。



原子燃料のリサイクルとプルサーマル

原子力発電所で使い終わった後のウラン燃料の中には、再利用できる「ウラン」と「プルトニウム」が残っています。使い終わったウラン燃料を「再処理」してプルトニウムを取り出し、ウランと混ぜて作った新しい燃料(MOX燃料)を、再び原子力発電所で使うことを「プルサーマル」といいます。

※「プルサーマル」とは「プルトニウム」と「サーマルリアクター」(軽水炉⇒現在の原子力発電所)を組み合わせた言葉です。

